

くま経 プレス

2011年
5月号
Vol.256

【発行所】くまもと経済・地域経済センター 〒860-8552 熊本市細屋町1丁目2-2 TEL096-359-7777 【発行人】松岡泰輔 【発行日】平成23年4月27日(毎月1回)
【発行数】熊本市内に152,000部無料配布 ◆http://www.kumamoto-keizai.co.jp ◆E-mail press@kumamoto-keizai.co.jp

折込広告が できます。

企業の
販売促進に

イベント
告知に

配達エリア・・・熊本市内一部周辺町村
お問い合わせは

☎096(359)7777
(デリバリー部)まで

●1部あたりの単価

サイズ	B4まで	A3まで	B3まで
料金	2.5円	3.5円	4.0円



阿蘇の雄大な自然をテーマにろうけつ染めの技法で作品を制作する染色工芸家の高津明美さん。20歳から作品を作り続け、今年で43年になる。日展に27回の入選、特選を2回受賞し、昨年1年間は日展審査員を務めた。「60歳を過ぎてチャレンジし続ける」と語る高津さんに、作品に対する思いやこれからの目標について話を聞いた。

—ろうけつ染めとはどういう技法ですか？

液状に溶かしたろうで模様を布地に描き、染色後にろうを取り除く方法です。美術教師をしていた父と、幼いときから阿蘇へスケッチによく出かけて、阿蘇が大好きな場所だったので、阿蘇を題材にするようになりました。雨上がりは、タワシでゴシゴシこすったように山肌の色まできれいに見えたり、台風のときは山上の雲の動きが荒れ狂っていたりと、季節や天気によって変化する阿蘇の大自然には魅力がたくさん詰まっています。

—日展に初めて出展されたのはいつですか？

26歳のときです。学生時代に日展の展覧会を見に行き、出展してみたいと思ったことがきっかけです。29歳で初めて入選しました。一生懸命やっていたら、私のように日展に入選できることもあるので、若い人たちにも勇気を出して挑戦してほしい思いで、今も作品を出展し続けています。

—天草更紗の復興にも注力されていますね。

数年前に天草更紗の職人さんと40年ぶりに再会し、技法を学びました。今も京都まで通って型友禅を学んでいます。天草更紗の帯や着物、ふろしきなどを制作し、展覧会や工房で販売しています。周囲からは「60歳を過ぎて学ぶ姿勢がすごい」と驚かれましたが、年齢なんて関係ありません。私は、途絶えそうになっていた天草更紗の伝統文化を残したいのです。

—昨年11月に香梅アートアワードを受賞された感想は？

感謝の気持ちと同時に、美術教育に対する責任感が増しました。お菓子を買って来た親子が店舗併設のアートスペースで、作品を鑑賞している様子を多く見かけました。私は美術館の協議会委員もしていて、子どもたちが美術館に来る機会が少ないことを心配しています。幼少期から気軽にアートに触れて感性を養うことが大切だと思います。

—ダイナミックな作品や、鮮やかな色合いが印象的でした。

「赤」の作品は特に人気があります。阿蘇山は火の山のイメージが強く、赤が似合うからでしょうか。以前、私の作品を購入した経営者から「重要な判断を迫られ、孤独を感じたときに、作品を見ると元気が出てくる」と言われたことがあります。私の作品を見て、1人でも多くの方が元気になってくれたらうれしいです。これまで、私は熊本の方に応援していただいたので、これからは熊本に恩返ししたいと思います。そのためにも、信念を持って良い作品を作り続け、若い人たちを育成して世界に羽ばたく染色のプロを育てていきたいと思っています。

—ありがとうございました。



液状のろうを浸した筆で防染部分を描く高津さん。熊本市白山の工房で撮影

プロフィール/たかつ あけみ 熊本市健軍町出身。1947(昭和22)年10月22日生まれ。63歳。第二高校普通科一兵庫女子短期大学美術デザイン科(現・兵庫短期大学美術デザイン学科)卒業。在学中にろうけつ染めを学ぶ。卒業後、熊本県染色工業協同組合に入社し、染色講師として勤務。育児をしながら29歳で日展初入選以降27回入選。昨年5月からは1年間審査員を務め、現在は日展会員。崇城大学芸術学部・必由館高校非常勤講師。

- ① モットーは？
良い仕事をする事、夢を追いかけること
- ② 尊敬する人は？
良い仕事をしている工芸作家
- ③ 最近読んだ本は？
『座右の銘』1300
- ④ 休日は何をして過ごす？
のんびりと時間を過ごす、ドライブ
- ⑤ 熊本で行きつけの店は？
ル・プティ・パリ(熊本市手取本町)
- ⑥ この仕事をしていなかったら何を？
美術の先生
- ⑦ 日常生活で心がけていることは？
何でもやり始めると止められない性格なので、生活の中でメリハリをつけること
- ⑧ アイデアが浮かぶのはどんなとき？
常に考えた結果アイデアが形になる
- ⑨ マイブームは？
天草更紗
- ⑩ 「輝いている人」の条件とは？
自分をしっかりもって、ぶれない人

第16回 親と子のふれあい企画 inフードパル熊本

さわやか!一日陶芸教室

毎年たくさんの応募をいただいている恒例イベント「さわやか!一日陶芸教室」を今年も6月11日(土)に開催します。場所はフードパル熊本内の食品交流会館です。当日は陶芸の先生が親切、丁寧に指導してくれるので、初めての方でも安心です。親子一緒に作品を作りあげるひときは、素敵な思い出を作る良い機会。皆様のご応募をお待ちしております。

最優秀賞
第15回(昨年) 徳永剛さん
ファミリーの作品

作品は熊本市食品交流会館ギャラリーに展示後、参加者に返却します。入賞されたご家族は表彰の上、賞状と記念品を差し上げます。

開催日時 平成23年6月11日(土)
午前10:10~12:30(受付9:30~)

開催会場 フードパル熊本 熊本市食品交流会館多目的ホール

募集定員 親子80組(※ご応募多数の場合は抽選となります)

参加料 家族2,000円(材料費、作品の発送費込。参加賞あり)

申込方法 参加希望の家族全員の氏名と年齢、郵便番号、住所、電話番号を明記の上、ハガキまたはファックス、メールでお申込み下さい。

〒860-8552(※住所の記入は必要ありません)
くまもと経済・くま経プレス「さわやか!一日陶芸教室」係
FAX 096-326-4259
E-mail press@kumamoto-keizai.co.jp

申込締切(第1回) 平成23年5月25日(水)(※当日消印有効)
※抽選の結果は6月7日までにハガキでお知らせいたします。
※6月8日になってもハガキが届かない場合は下記までお電話下さい。

一日陶芸教室 問い合わせ TEL 096-359-7777 (担当:熊谷・宮田)

6月11日(土) 参加家族大募集!!